

審議会等の会議結果報告書

【担当課】生涯学習課図書館係

会議の名称	令和5年度第1回図書館協議会		
開催日時	令和5年6月30日（金）午後6時30分～8時30分		
開催場所	茅野市図書館 閲覧室		
出席者	矢崎智義委員長、細川美歩子副委員長、北原東一委員、志水琴美委員、田村満理委員、田村満利子委員、濱喜一郎委員、前島敦子委員、松岡隆志委員、松木美希委員、百瀬るみ委員、両角薫委員、山田教育長、上田生涯学習部長、竹内生涯学習課長、五味図書館長、北澤図書館係長		
欠席者			
公開・非公開の別	公開・非公開	傍聴者の数	0人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容		
教育長	<p>1 開会（竹内生涯学習課長）</p> <p>2 委嘱書の交付 教育長から委嘱書が交付される。</p> <p>3 教育長あいさつ 皆さんこんばんは。お集まりいただきありがとうございます。また、図書館協議会委員をお引き受けいただき感謝申し上げます。コロナ禍が終わり新たな時を迎えましたので、新しい時代に対応する図書館のあり方、図書館の方向性について今年度1年間考えていきたいと思っております。どうかよろしくお願ひします。</p>		
図書館係長	<p>4 自己紹介 (委員及び職員が自席で自己紹介を行う)</p> <p>5 図書館協議会の役割について (資料1により、図書館協議会の役割について事務局から説明)</p> <p>6 正副委員長を選出について (選出について特に意見はなく、事務局の腹案により選出・承認される。委員長は矢崎智義委員、副委員長は細川美歩子委員) (正副委員長あいさつ)</p>		
生涯学習課長	<p>7 会議事項 これより会議事項に入ります。進行は矢崎委員長にお願いします。</p>		
委員長	<p>(1) 審議会の公開について まず初めに、「審議会の公開について」説明をお願いします。</p>		
図書館係長	<p>(資料2により、審議会等の公開について事務局から説明)</p>		

図書館係長	(特に異議はなく、本日の会議について公開とすることを決定) (事務局から、会議の出席状況と傍聴者について報告)
委員長	(2) 令和5年度図書館運営及び課題 2番目の議題に入ります。「令和5年度図書館運営及び課題」ということで、館長お願いいたします。
図書館長	(資料3について、図書館長から説明を行う)
委員長	「令和5年度図書館運営状況について」ご質問等ありますでしょうか。
委員	毎年高校の図書委員でおはなし会をさせていただいております。今年は9月、11月、1月の計3回になりますが、委員も毎年変わり、私は昨年からはありますが、職員もちょうどコロナ禍で今までやっていた企画が何年もできないということが続いた後で引き継いでやろう、とした時にどうしていかかわからないということを実感したので、その時その時で絵本を選ぶのではなく、おおよその演目を決めて1年の中で同じサイクルにしていくことで、今まではこういうふうに来てきたという実績を積んで引き継いでいく形にしたいなと今年は検討しています。 生徒たちも必ずしも読み聞かせが得意な子ばかりではなく、意欲的にやる子もいれば引っ込み思案な子もいるので「自由にやってください」と言われるよりも、例えば1月は干支にちなんでウサギの絵本にする等演目を固定したほうがやりやすいので、担当の方とご相談させていただければと思います。
委員長	ありがとうございます。今、図書委員さんは何人くらいなのですか？
委員	1年生から3年生までで23人いるのですが、11月以降は生徒会が変わって3年生が引退してしまうので、9月、11月は3年生も参加しつつ1、2年生も混ぜて経験を積んで、1月からは新しい体制でできるようにしていきたいなと思っています。
委員長	図書館の読み聞かせは生徒さんにとっても意味のあることですか？
委員	そうですね。緊張してうまくできないと言いつつも行ってみると、小さい子がニコニコして聞いてくれたり、近づいて聞きに来てくれるのがとても嬉しいみたいで、やってみるとよかったねという話になるのですが、やるまでがどうすればいいのかという緊張感もあつたり、本の持ち方から説明したりしているので、図書館の職員の方にもお手伝いさせていただいてこういうふうにやるといいよ、という講習会のようなものができたらなと個人的には思っています。
委員長	読み聞かせ以外にも何かを一緒にする可能性がありますか？
委員	おはなしに限らず、いろいろやって下さいと言っているのですが、手遊びなども何年前はやっていたみたいなのですが、資料として残っているわけではなく、聞いた限りで知っているだけなので、その手遊びにしても経験のない職員が来ればどうすればいいんだろうねということになってしまいます。図書館の方と連携をとっているから相談すればいいよ、と言えればやりやすいのかなと思います。
委員長	

<p>委員</p>	<p>ありがとうございます。お話聞いていきますけど、その中でももしご意見とかご質問があったら手を挙げてください。</p> <p>事業計画を見せていただいて、以前とだいぶ違うなと感じました。それに図書館に入ってみると入口も明るく可愛らしくなって、本当に生きている図書館だな、と新鮮な気持ちで見ることができます。今、資料を見せていただくとおはなし会など活発にされてきて、定着もしているのだなというのを感じました。また、ハーブの講座を計画されて、それが実施されたということをととても嬉しく思います。それ以外では、先ほど館長さんが年齢層について、15歳から65歳までが60%でそういう人たちの取り込みをしたいとおっしゃっていたので、もし可能であれば商工会議所と連携をして商業、工業の人たちと職業体験に繋がるようなイベントができたらいいなと思います。</p> <p>あるいは、日本の伝統文化について1年に1度でもイベントができればいろんな年齢の人たちが集まってくると思います。それが定着してくると図書館でそういうこともできるのだなと思ってもらえると思いますし、開けた図書館になるのかな、という感じがします。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。商工会議所との連携を私も模索したことがありまして、実は前々回の協議会の時に商工会議所の副会長さんに電話して、どなたか委員さんを紹介してくださいという話をしてみたのですが、その時はなかなか難しかったです。</p>
<p>委員</p>	<p>私は昔司書の資格を取ったときに、2週間ほどこちらの図書館に来させていただいたことがあるのと、自分の子どもが小さい時にこちらの図書館を利用していましたが、学校図書館の司書になってからは、子どもたちに提供している本なのかどうかを見極めるために、私の言葉では「お仕事読書」と言っていたのですが、本当に自分の好きな本を読むのではなく、お仕事のために一生懸命読むという読書を長い間やってきたので、今資料を見て、ずいぶん進化したんだな、みなさん頭を絞っているいろいろ試みて、図書館を活性化しようとしてきたんだなという足跡がわかり嬉しく思いました。</p> <p>私の場合には、この図書館が美術館といっしょになっていた時に利用していたので、子どものコーナーを作るなど図書館の活性化のために色々されていることがとても嬉しく思います。司書さんたちもそれぞれ得意分野があると思います。芸術関係が得意な司書さんだったら7類の本なら自信を持って選べるとか、理系に強い司書さんだったら4類、5類だとか。それぞれ強みを持った司書さんの集まりで図書館が運営されていたらもっといいのかなと思います。強みを生かせるという部分では、司書さんの資質向上を大切にしていきたいなと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。この図書館は以前美術館でした。その後市民が意見を出して図書館にしたのですが、その時に1番重視したのは、図書館の過ごしやすさです。それ以前は、図書館での貸出冊数を重視してきてのですが、そうではなくて、図書館に来てもらう人を増やそうということで、窓際に全部机をつけて椅子を並べるなどしました。図書館の過ごしやすさ向上のために、エレベーターをつけ、イートインコーナーを作ったりしてきたので、そういう意味でも以前とかなり変わってきたのかなという感じがします。</p>
<p>委員</p>	<p>私は中学校の視点からお話をさせていただきますが、まずは本校の2年生が今年も5月に職場体験学習をさせていただきまして、例年のように茅野市図書館さんでも体験させていただきました。子どもたちは機械的に割り振るのではなく、現時点で子どもたちが経験してみたい職業、あるいは将来の夢</p>

	<p>に繋がる職場を想定して求人票を書いてもらいまして、その中で自分の思いや、行ってやってみたいこと、あるいは経験からやりたいことが明確な生徒を選んで各職場に配置していくのですけれども、図書館に行った生徒たちの学びは大変大きくて、普段は利用する側なのが運営する側になっていく経験は、子どもたちの図書館に対する考え方や本への接し方について新たな視点をもたらして、子どもの学びの場として大変大きかったと今年度も感じさせていただいております。</p> <p>今回この運営計画に入れていただいております縄文のビーナスプランですけれども、本校の生徒は小学校の時から、もっと言いますと茅野市に生まれた時から本とともに人生を歩いていくという非常に素敵な状況ができていて、小学生の頃からたくさん本を読んでいます。本校の中学生も、2時間目休みが主に本を借りられる時間なのですが、図書館のカウンターに行列ができるような状況で、子どもたちは本を借りて毎日、朝読書はもちろん、読書週間や読み聞かせなどでも本に親しんで、物語の世界に没頭しています。</p> <p>もう一方でいわゆる学習センターとしての図書館の役割というところに、子どもたちが意識をさらに持っていかたいと考えています。調べ学習の時などは特に支援をしていただいているのですけれども、市の図書館から学校の図書館にはない本を送っていただいて、子どもたちがそれを利用できるような状況、あるいは物語を読む場所としての図書館でもあるけれども、自分の学びを広げる場所としての図書館でもあるというふうに子どもたちが図書館を捉え直す機会を与えていきたいと思い、学校でも進めていきたいと思っておりますし、また茅野市図書館の方針にそのことが入っていることを非常に心強く感じます。</p>
<p>委員</p>	<p>保育園では、遠足の雨天コースに図書館を入れていて、図書館に行きたいというお子さんも多かったのが雨天コースを楽しみにしていたのですけれども、当日はお天気が良かったので農場へ行かせていただきました。私の勉強不足でデジタル化とか、デジとしょなど初めて知ることでもあって、図書館がこんなにも進化しているのだから自分も勉強していかなくちゃいけないと感じました。また、出張おはなし会は毎年すごく楽しみにしていて、コロナ禍の時期でも図書館の方たちが汗だくになりながら3回コースで0～1歳対象、2～3歳対象、4～5歳対象と時間を分けて読み聞かせをしてくださって、子どもたちにとって本当に豊かな時間になっているということを感じました。コロナ禍でも来てやっていただいたのはとても嬉しかったですし、継続してくださるといことなので、また今年も来てくださるのを楽しみにしています。</p> <p>小中学生、高校生の職場体験もされたとお聞きしましたが、小さい子への読み聞かせがきっかけで保育士を目指して保育園へ来てくださる方もいて、先ほど中学校の先生もおっしゃっていたように将来の夢に繋がることでもあるので、保育園でももう少し図書館や分室を利用していきたいなと思いました。</p>
<p>委員</p>	<p>私も今年度の課題と実行計画を見させていただきまして、コロナが緩和されて活動を増やしていこうというような少し前向きの姿勢を感じることができました。さきほど委員長がおっしゃったように図書館に対する期待が今はあまりないと思います。15歳から65歳の人たちから図書館がどう見えているのかを考えて、もっと図書館が市民の中に入り込んでいくようなことができたらいなと感じています。館長さんからもお話がありましたが、ひとつは心地よい環境、職員のサービスによって安らげる場づくりが挙げられるのではないかと思います。「土日は家族で図書館へ」という標語などとてもいいなと思うのですが、私も会社で働いていた時には心身が疲れきっていて、日常のストレスから解放される場所として図書館を使っていました。小中高</p>

校生の子どもたちは勉強のために通っているし、シニアの世代の人たちも働いている世代の人たちもそれなりに来られています。私がここの図書館を使って思うのはもっと利用頻度が高くなっていいのかなということです。

また、デジタル化につきましては実は今日私がお持ちした資料の中の学生の活動紹介のところで、まさしくそのことについて学生が取り組んだものがあるので、これについて少しお話させていただきます。2つ資料を用意していて、1つ目は大学2年生が取り組んでいる必修授業の科目になります。これは地域から様々な課題をいただいて、10人くらいのグループでディスカッションしながら半年かけて課題解決していくという授業です。もしご興味があれば読んでいただければと思います。

去年は4つのグループに分かれて、それぞれの内容に関して具体的な課題が与えられたのですが、あるグループはまさに「よりよい図書館を目指して」ということで、現状の図書館の問題点をDXなどの技術を使って解決しようとしたグループです。そして優秀賞を受賞しています。実際に彼らは諏訪市図書館にヒアリングに行き、そこで図書館が抱えている問題をピックアップしてきました。そこで彼らが見つけた問題が「若い世代が来ない」それから「UXが古い」。彼らが来る前に諏訪市図書館が若い世代向けのイベントを企画したのですが、そのときちょっと失敗してしまったようで、問題点として上がってきたものです。

それから、UXが古いということに関しては、先ほど館長さんからも説明があった資料3の4-6に「所蔵する資料を精査し、貴重な資料を利活用できるよう博物館等と連携したデジタル化の検討」とありますが、たくさんある蔵書をどう整理するのかというところでなかなかデジタル化が難しかった。そこに目をつけてこのグループはいわゆる蔵書検索のようなものを効率的にできるシステムを構築しようということをやっています。もちろん学生の授業の企画で作ったものなので、アプリ等も今作っているのですが、なかなか半年間の活動ではそこまで完成度の高いものは作れないですが、過去にはこの授業で地元の企業さんの経営的なマネジメントのサポートをするというようなシステムも作ってたいへん評価されたというような例もありました。

このように学生が実際に地域に出て行って、問題を共有して地域の人たちと話しながら解決に向けて議論していくということが彼ら自身にとってのスキルアップになっているという授業です。これは授業の一環ですけれども、今回のように諏訪市図書館に学生が入って行って、若い視線を入れていく、一緒に活動できる可能性があるということを感じています。

最後に、私の学校でも図書館の利用率を上げようということで、パンフレットを作っているのですが、ちょっと見ていただくとかなりポップで読んでいただいてもわかりやすい内容になっているかと思います。これは図書館内の学生アルバイトが企画をして作りました。彼らは自分と同じ世代の学生にどうしたら図書館を利用してもらえるのかということを考えて、非常に良いアイデアを出してくれました。欲を言えば、それが実際に使う側の視線に立ってこういうものがあってもっと使えるとか、何か茅野市図書館と大学の図書館の間に学生が入って活動できるような場があるともっと面白いと感じています。

大学にはいくつか担当部署がありまして、地域連携総合センターというところでは、例えば図書館の方から、学生の知恵を借りて図書館の利用率を上げるためのイベントをしたいがアイデアをもらえないか、というような形で窓口にご要望をいただければ、そこから地域連携総合センターが学生と地域からの要望をつなぐという役割をしています。ですので、こちらにお声がけをしていただくか、もちろん私も図書館絡みのことであれば声をかけていただければ一緒にお話ができると思います。今年は4人の教員が図書館に来て

	<p>地域の方に情報提供という形で講座を行いますけれども、地域連携総合センターの役割は学生が地域と関わる事業にコミットするというような部署です。ですからぜひ図書館の方でもこの窓口を介して、学生とコラボできないか投げかけをしていただくといいのかなと思っています。地域の方々に貢献できるような活動ができれば大学としても嬉しいです。</p>
<p>委員長</p>	<p>諏訪の図書館が対象になっているのは、諏訪市図書館からのオファーがあったからですか？</p>
<p>委員</p>	<p>その経緯については把握してはつきりとはわからないのですが、もしかしたらオファーがあったのかもしれない。</p>
<p>委員長</p>	<p>そうですか。ぜひ茅野市図書館を対象にしてもらいたかったですね。</p>
<p>委員</p>	<p>事業計画を見せていただいて、本当に1年間に渡ってたくさんのことを計画されているなど感じています。私は茅野市民のひとりでもありますので、子どもが小さいときにおはなし会に参加させていただいたこともありますし、調べ学習の講座にも参加させていただいたりして、図書館の利用をさせていただく機会もありました。また、学校の子どもたちも日記に図書館に行ってきたということをよく書いてきてくれます。学校の図書館だと2冊しか借りられないのですが、ここでは10冊借りることができるので、たくさん借りられるのが嬉しくて利用しているという話もたくさん聞きます。また調べ学習もこれから夏休みにかけて取り組む子どもたちがたくさんいるので、資料を借りに行ってお世話になる子どもたちが多いいのかなと思っています。おはなし会などの講座も色々な種類のもので企画されていて、楽しそうなものがあるので、ぜひ子どもたちに学校としても何か紹介できたらいいのかなと資料を読ませていただきながら考えているところです。</p> <p>調べ学習に関しては今はインターネットがあるものですから、子どもたちがどうしてもそちらの方に行きがちなんですよね。インターネットの良さももちろんあるのですが、本を使って調べるといことの良さもあると思っています。自分の手でページをめくって探すとか、それから探したいことの隣に載っていることが、一見関係のないように見えてもそこからさらに知識が広がったり、別のことに興味が湧くということもあるので、子どもたちにも調べ学習だとか授業を通して本で調べるといことの良さや魅力を学校としても伝えていかなければいけないなど感じています。</p>
<p>委員</p>	<p>私は自分の年を考えて講座だとか読み聞かせを考えました。すると、高齢者が出る幕がないように思えます。誰でもと書いてありますけれども、「誰でも」という書き方だとなかなか参加しづらい部分があります。「60歳以上の方対象の読み聞かせ講座」のようにはっきりとわかるような講座だったら私も行ってみたいなと思えると思います。確かに茅野市の発展には子どもさんが大事だと思います。でも、その周りにいる高齢者も一緒になって育てられるような環境のほうがいいような気がします。「ご家族で」という言い方だとおじいちゃんおばあちゃんも入るのですけれども、そこを「お父さんお母さんとおじいちゃんおばあちゃん」という言い方にすると私も対象なのかなと思えますし、ご高齢の方でも行ってみたいくなるような講座があったらいいなと思います。</p> <p>資料を見ると、「健康づくりの講座」とあって、これなら行こうかなと高齢の方も思えると思いますが、それ以外に65歳以上の女性が行ってみたいなと思えるものがひとつもないと思います。茅野市でもおそらく高齢化が進んでいると思うので、図書館に高齢者の方に来てもらって、高齢者の方に</p>

<p>委員長</p>	<p>も協力できることがあるというのを知ってもらえたらいいなと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>はい。貴重なご意見ありがとうございました。確かに茅野市の伝統として、子どもたちに対する政策はすごく厚いです。それに対して、一生懸命働いている世代、それからさらに上の65歳以上の年齢層の方に対してのものは私からみると本当に少ない。そこを何とかしてくださいということを私もずっと言ってきました。年を取ると待ちの姿勢の方が増えてくると思うので、図書館側がもっと前へ出て攻めてくださいという話もしています。館長が張り切っていますので変わっていくと思います。</p> <p>私たちの団体は図書館と連携して活動するということが今まで本当に少なく課題のひとつとなっていたのですが、館長さんや図書館の皆さんのご厚意でおはなし会をする場を作ってくださいました。私たちの団体がどこかに出かけていっておはなし会をする、読書の良さ、絵本の良さをPRするという機会は今までなかなか持てなかったのですが、大変ありがたいと思っています。今年度は3回あるということなので、この機会をすごく良い機会だと捉えて頑張っていきたいと思います。また、デジとしょにつきまして、登録する条件に年齢制限があるのかをお聞きしたかったのですが、何歳以上というのは特になく図書カードを持っていれば登録できるということによいのですね。</p> <p>それと、私は茅野市子ども家庭応援会議ですとか、他の方面の会議に出ていることがあって子どもたちの貧困を考えるというような会議に出席することもあるのですが、貧困のためなかなか本を買えない子どもたちがいるので、地域の学校図書館ですとか地域の図書館また分室といったところを本を買えない子どもさんたちが利用するということがあると思うので、本の充実をより一層お願いしたいと思っています。デジとしょについては年齢制限がないということですので、本を買えない子どもたちのためにできれば中学校に入学した時などに図書館からのご案内と併せて登録ができるように、チラシを作って教えてあげれば良いのではないかと思います。</p> <p>あるいは、ファーストブックのプレゼントやセカンドブックのプレゼントの際におうちの方向けにデジとしょのお知らせを入れることも、登録に結びつく方法ではないかと思いますので、お願いしたいと思います。余談になりますが、先ほど教えていただいた連携事業につきましては、私の勤務する博物館にも、お隣なので学生さんがこの課題のために足を運んでくださって、私たちもインタビューを受けました。何グループも来てくださって、今資料を見るととても立派にまとまっているので、もしこういう冊子があるようでしたら、インタビューを受けてその後どうなったかという結果も見せていただきながら協力していきたいなと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>地域連携の課題の成果というのは冊子になっているのですか？</p>
<p>委員</p>	<p>冊子があります。公開もしていて、地域に成果をフィードバックするための発表会を最後の週でやっているのですが、そこではお世話になった方々に来ていただいて、ご意見をいただくこともあったり、博物館には私がこの授業を担当していた時には一緒に伺って前の館長さんとお話させていただいたこともありました。大学が公立化して、少し内容が変わっているところもあるのですが、この企画は地域に結果をフィードバックするというのもひとつの目的です。ですから、資料が欲しいということであれば、ご提供できると思います。</p>
<p>委員</p>	

<p>委員長</p>	<p>最後になってしまいましたけれども、少し古い話をさせていただきたいと思います。私も図書館で色々なことを経験させていただきましたけれども、最初茅野市の社会教育委員会で、茅野市における生涯学習はどうあるべきか、生涯教育はどうあるべきか、当時の教育長の時に答弁させていただきました。その時に、文部科学省の発達段階は、乳児期から始まって5段階でしたが、胎児期からはじめようということで、お母さんのおなかに子どもが宿った時から教育を始めようというのがそもそもの始まりで、お母さんが心豊かに子どもを産めるように、読書も必要だという話がありました。それ以降は、学校がずいぶん荒れて学級崩壊が起きるということがありました。1997年くらいだったと思いますけれども、その時の教育長がそれをなんとかしようということで、当時の市長に読書活動推進協議会に呼んでいただきました。茅野は昭和57年に市民憲章を制定されて、昨年が市政60周年でありました。やはり本を読んだためにならないことはないということですので、図書館をもっと充実させていかなくちやいけないと思っています。市民館の建設の時に、身体の不自由な方でも図書館を利用していただけるようにスロープを作るための勉強させていただきました。</p> <p>私は旅が好きですので、最近も三重県の松坂、小津安二郎の生まれたところへ行き、そのまま船で仙台まで渡りまして、最終日は上杉鷹山にゆかりの米沢に行ったのですが、旅をすると、駅の中に図書館があるところが随分あります。太宰治の生まれた青森の金木町に芦野公園があって、そこに行ったときにもやはり図書館がありました。旅をしていて、1番安いのは図書館と本屋さんですから。そういうわけで読書の推進をみなさんされている訳です。私は図書館協会がはじめてですので、色々な問題をまた教えていただきたいと思っています。教育委員をしていた時には6市町村の他の図書館さんを見せていただいております。今回委員に任命していただいたので、皆さまにご指導していただきながらやっていきたいと思っています。よろしくお願います。</p>
<p>副委員長</p>	<p>皆さんも旅行に行ったら、行った先で色々な図書館を見ていただければと思います。私も塩尻の図書館とか、北杜市の図書館とか、遠くは滋賀の方まで行って見てきたことがあります。箱物だけではなく、見るところという図書館でいいなと思うこともありますので、どこかへお出かけになったら図書館を見ていただきたいと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>委員の方からたくさん課題を出していただいて、それを受けて図書館長さんはじめ生涯学習課の方で1つ1つを検討して頂いて、また次回の協議会でご回答いただければありがたいなと思います。よろしくお願います。</p> <p>委員さんからお話をいただきましたが、資料の5ページを見ていただきたいと思います。図書館の役割を羅列しています。本を貸すだけではなくて、図書館には様々な役割があるのではないかと、今世界中の公共図書館がこれからどの方向に進めばいいのか悩んでいます。図書館に3Dプリンタを置くだとか、色々なことを模索している段階です。インターネットが出てきて、長野県でもデジとしょ信州をはじめたりして、今後図書館をどうしていけばいいのかというのは図書館協会の悩みになってきていますが、本来図書館とは何をすべき場所かというのがここに書いてあります。考えること、読むこと、リテラシーの関係、それから地域の課題を解決する力をつけること、またはその場であること。アメリカでは創造性という考えもあります。図書館に来て、新しい事業を作ることや、新しい構想を得たりすることをとても大事にしています。それから1番下に書いてあります「居場所としての図書館」これも大事な点になっていて喫茶店とかパチンコ屋さんだけではなくて図書館に来て時間を過ごせる、コミュニティーを作っていくという役割もあ</p>

<p>教育長</p>	<p>りますので、ぜひそういった広い目で図書館を見ていただき、ご発言をしていただければと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>これはあくまでも個人の考えです。2030年の茅野市の人口動態を見た時に、例えばあの地区だったら昼間の人口の70%から80%が高齢者になってしまいます。北山や泉野に行くとその割合がもっと高くなります。そんな中で学校教育をどうするか、そればかり考えていました。例えば、山浦地区の学校に行った時に昼間は町の中のほとんどが高齢者です。その中で学校をどう成立させていくのか。地域に支えられない、ゴーストタウンのような学校になってしまう、その中でどうしようということ考えた訳です。ですが、視点を変えれば人口の多くを占めるご高齢の方々にとっての図書館、ご高齢の方の学びの場という視点をもっと持たないといけないのかなと今日は皆さんのお話を聞いて感じました。</p>
<p>委員長</p>	<p>私は同級会をすると、定年退職する人が多い年代なのですが、色々な経験をしてきて、このまま何もしないというのはもったいないという人がたくさんいます。ですので、地域の中でそういう人たちを活用したり、集まることができるのであればいいなと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>(3) その他の議題</p>
<p>委員長</p>	<p>3番目のその他の議題をお願いします。 (事務局よりデジとしょ信州の使い方マニュアルの説明を行う)</p> <p>その他はよろしいですか。それでは本日の会議事項すべて終わりにになりました。</p> <p>8 閉会（竹内生涯学習課長） それでは以上をもちまして令和5年度第1回茅野市図書館協議会を閉会いたします。今日はありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">～午後8時30分 会議終了～</p>